



ニッポン
ドクター和の

臨終図巻

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

悪夢のような新型コロナウイルスの第5波によって、再び医療崩壊が起きています。しかしこれ以上緊急事態宣言を出しても、国民はもう我慢の限界でしょう。人間の尊厳は、排泄(はいせつ)と食事と、移動にあると考えます。どれかひとつでも自由を奪われると、人間は大きなストレスを抱えます。ときどき旅をすることは、どんな精神薬にも勝る効能があるはず。だから、『遠くへ行きたい』(詞・永六輔、曲・中村八大)という歌が、50年以上も日本人に愛され続けているのも納得です。

この名曲を大ヒットさせた、歌手で俳優のジェリー藤尾さんが、8月14日に横浜市内の次女の自宅で亡くなりました。享年81。死因は、慢性閉塞性肺疾患(COPD)を土台とした急性肺炎、との発表です。つまり、急性肺炎とは

218 歌手・俳優 ジェリー藤尾



いつでも急死されたというわけではなく、持病のCOPDが進行した結果の肺炎発症と増悪と考えられます。現在、わが国にCOPDの推定患者数は530万人以上いるそうです。コロナの重症化要因としてもこの病が挙げられます。僕も、

COPDの患者さんたくさん受け持っています。ほとんどは男性です。この病気は、1度なると元には戻りません。たいていの人々が、「では、あとどれくらい生きられますか?」と訊いてきます。確かに、COPDもがんと同じように症状によってステージ分類されていますが、がんのように月単位で徐々に進行する病気ではなく、安定していた状態から急激に悪化(急性増悪)することが多いのです。末期状態になると激しい咳と喀痰や身体疼痛に加え、著しい呼吸困難が起ることが知られて

います。在宅で治療している患者さんとご家族には、呼吸困難を伴う急性増悪の状態になったときの対処法を丁寧に説明します。もしものときにどうするか、リビングウィルを書いておきましょうとも伝えま

す。「COPDの最期というのは、息が詰まって亡くなるから大変苦しいんですよね?」と心配する人もいます。だけど、必ずしもそうとは限りません。ジェリー藤尾さんも、お嬢さんが朝、部屋の様子を見に行くと亡くなっていったとい

います。寝ている間に高二酸化炭素血症に陥り、自然な鎮静がかかったような状態で穏やかに逝かれたのでしよう。ジェリーさんはずっと独り暮らしでしたが、コロナ禍になり、次女から同居の申し出があり、今年になって引っ越したそうです。さらに、1986年に離婚した奥様とも最近仲直りしていたのだとか。遠くへ行けない今、近くで家族の愛を感じながら旅立てたのは、幸福なことだと思います。

遠くへ行けなくとも近くの愛